

に盛んにメモを走らせていた。

同社の山口リーダーは「我々は社会インフラとして、点検整備を通じてクルマの安心・安全の確保に力を入れていることを特に訴えたかった」と話し、ブレーキや下回りの説明では、車検と整備の違いを示しながら、点検整備の重要性を強調していた。



点検整備の説明を受ける支店の整備担当職員

道運輸局自動車技術安全の中里秀人保安・環境調整官は「整備工場の現場を知らない素人集団でもあり、クルマや点検整備の知識を把握して

は、同社が取り扱う最新のボルトやスカーフのトラックのほか、消防車両やパトカーなどの働くクルマと、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHEV）などを展示し、子どもを中心に写真撮影を実施。またキッチンカーの出店もあり、会場は大賑わいとなった。

スターズが13対3と快勝。試合後は、金田社長による表彰セレモニーが執り行われ、その後は選手達と来場者による「ふれあい運動会」が行われた。

野球独立リーグを応援

カネタG 公式戦で車の魅力も発信

カネタグループ（金田一宏社長）は7日、地域応援イベント「カネタグループプレゼンツはたらく自動車大集合」を旭川スタルヒン球場で開催した。このイベントは、北海



道ベースボールリーグ公式戦で活躍する野球チーム「旭川ビースターズ」の試合応援と、観戦で球場を訪れた人達にクルマの魅力伝える催しとして企画。

自らが扱う車両などを展示

た、同社総務人事・サイビス営業部担当の山崎千晶さんは「このイベントは、当社が扱うスカニア、ボルボの大型車のほか、消防、警察などに協力を得て緊急車両を展示し、会場に来る子どもを中心にクルマの魅力伝えるのと、地域に根ざした地元の野球チームを応援する地域貢献の一環として開催した。また当社では外国人社員が多く在籍しており、ビースターズでも働きながらプレーする外国人選手がいるので、チームと絆を深めながら何れは当社が選手を受け皿となり応援を続けたい」と話した。

びた雑草に悪戦苦闘していた。揚げ芋作りは、女性社員で構成する「レディブル」、今年初登場の焼き鳥は、大谷昌史課長はじめ常連スタッフ、綿あめは、半年前に入社の営業、メカニックの新人スタッフが担当。大きく捲きあがらない綿あめに苦戦しながらも「楽しい」と、日常のスーツやオーパーオール姿を同社キャラクター「ねっちゃん」のTシャツに着替え、満面の笑みでイベントを楽しんだ。

ト選手権では、小ぶりの芋の中から1グラムでも重い芋に重量計測。初回は昨年も高野正勝専務は「今年は酷暑で芋の収穫を心配していたが、どうにかこの日を迎える事ができた。今回は新入社員全員が各店舗から参加している」と目を細めた。

は、メークインやとうや、きたあかり、男爵など合わせて約2ト以上、次回は更なる収穫量を目指すとしている。年末には、収穫した芋を、今年も「子ども食堂」に寄贈する。



優勝した家族が2連覇し、プロバスケの三上侑希、野口大介両選手からお菓子の詰め合わせセットが贈られた。



試合終了後のセレモニー

リサイクルを通じて地球環境に貢献

石上車輛株式会社

日本最大級の総在庫数！
中古部品 50,000点

リペア済みバンパー多数在庫 カラードバンパーも承ります！

安心・安全をサポート
各種メーカー取り扱い・お車のことなら

・取り扱い商品・

小型・大型自動車部品 各メーカー部品協力店

◆日本エアブレーキ(株)道北地区サービスステーション◆
◆パナソニック バッテリー特約店◆

機械工 自動車整備機器 検査機器